

楷

第五十九号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI
No. 59
2014
October



<写真>
かきとをし
長サ二三尺許

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

一目 次一

- 図書館の空間と「知」を活用する新たな教育プログラムについて
（附属図書館副館長 田原誠）…………… p.2
- 新しくなった鹿田分館（鹿田分館長 加藤宣之）…………… p.5
- 改修後の施設・サービス案内（学術情報サービス課）…………… p.7
- マスカット…………… p.11
池田家文庫絵図展のお知らせ、植物研分館特別展示「研究所を支えたモノ」
実施報告 ほか
- 会議・研修・編集委員会から…………… p.16

図書館の空間と「知」を活用する 新たな教育プログラムについて

田原 誠

はじめに

昨年4月、附属図書館に副館長が配置されることになりました。それ以前は、図書館の運営に直接関わっていた教員は館長一名でした。副館長は、文系と理系のそれぞれの領域から二名の教員が担当し、私は理系からの副館長を拝命しました。

副館長導入の主な目的は、大学教育改革の牽引役である教員組織と図書館の連携を深め、図書館とそこに集積されている学術情報を、大学における教育・研究改革の実現に向けて積極的に活用することです。岡山大学の改革に対応する附属図書館の機能強化の方向性については、沖陽子図書館長が本誌に投稿されています（No.57、2013年10月号、No.58、2014年2月号）。その中では、附属図書館を、グローバル化時代を生き抜く「知」の交流拠点として構築し、「知」の交流を活性化し人材ネットワークを形成するという将来構想が紹介されています。この「知」の交流拠点の一つとして、主体的な自己形成に欠かせないリベラル・アーツを涵養する拠点の形成をめざすことにしています。本年5月に完工した耐震改修工事では、図書館に、新しいタイプの学修の場である「ラーニング・commons」が整備されました。私の副館長の役割の一つは、この学修の場と図書館の機能を活かして、全学に向けて、「学生の主体的な学びの確立に向けた大学教育の質的転換」を支える教育モデルを提言することです。本稿では、現在検討中の新たな教育プログラムについて紹介させていただきます。

図書館の「知」を活用する教育プログラム開発

1. 大学教育の課題

日本の初等中等教育は、大学入試を念頭にした知識偏重型の教育であり、暗記中心のテストによる成績評価がなされています。また、大学でも、依然として、学生からの質問や質疑応答を含まない知識獲得・伝承型の講義が中心となっています。しかし、予測困難な今の時代を生きていく若者や学生にとっては、「正解」が準備されているテストではなく、現実社会の多岐多様な「答えのない問題」について最善解を導くために必要な知識・能力を鍛え、生涯学び続ける力、主体的に考える力〔社会を生き抜く力〕が欠かせません。また、全世界的なグローバル化が加速される中、様々な人々と協働できる能力（語学力・コミュニケーション能力や主体性、チャレンジ精神、異文化理解、日本人としてのアイデンティティ、創造性など）がこれまで以上に重要になってきています（中教審、第2期教育振興基本計画（答申）平成25年4月25日）。

2. ラーニング・コモンズを活用する新たな教育プログラム

このため、新しい図書館の機能を活用する教育モデルとしては、①学生が自ら調べ自ら考え自ら判断する思考スタイル〔クリティカルシンキング（検証的思考）法〕を身につけさせる、②争点を理解し課題の解決に向けたコミュニケーションを行う能力（フィンランド方式対話法）を育む教育活動を実施することを検討しています。



1) クリティカルシンキング

クリティカルシンキングは、問いを立て、問題を定義し、根拠を多面的に検討する。バイアスや前提を分析し、感情的な推論を避ける。過度の単純化はせずに、他の解釈を考慮し、不確実さにも堪えることを特徴とする思考法です (Wade, 1995)。この思考方法を体得することにより、「答えのない問題」についても最善解を導くために必要な能力を鍛えることができます。この思考法の涵養は、欧米の中高等教育などで広く取り入れられ、教育方法や評価方法なども整備されています。

図書館の教育モデルとしては、国際バカロレア教育の Theory of Knowledge や、内容を理解して説明・議論することで外国語を学ぶ Content-Based Instruction (CBI)において採用されている方法を基本にモデル授業を実施したいと考えています。

2) コミュニケーション

コミュニケーションについては、いわゆるディベートのような論点を議論する技能ではなく、異質な相手であっても対話できる能力が重要と考えています。多様な他者を相手に多様な課題に直面しても、解決に向けたコミュニケーションを生涯実践できるようになるからです。これは、決してグローバルな環境下ばかりでなく、画一的な経済社会が崩壊して価値観や思考方法が多様化し、「以心伝心」など旧来の方法による相互理解が難しくなっている日本人の間でも欠かせないものだと考えます。

コミュニケーションについては、分かり合えないからこそ、お互いの論理や考え方を理解し、歩み寄れるポイントを探して話し合うという手法（フィンランド方式対話法）を採用します（北川達夫, 2010）。

3. 教育プログラムの開発

このようなアクティブラーニングの教育方法については、CBIを取り入れた授業を実施している言語教育担当の教員などの協力を仰ぎ、現在、調査・研究を進めています。

調査・研究の結果をもとに、今年度の後期日程の後半には、図書館のラーニング・コモンズにおいてモデル授業を実施して、教授方法の開発を進めていきます。さらに、このような教育に関心を持つ方々（教員、大学院生など）を集い、教育方法の検討をさらに進め、物事を多面的に捉え論理的に思考を巡らせる機会やコミュニケーションを多くの授業で取り入れていただく方法を探っていきます。

おわりに

図書館に集積された多様で豊富な書籍、資料や電子情報などは、多面的な検証を基本とする思考法に欠かせないものです。これを活用する空間（ラーニング・コモンズ）や機器を整備することで、図書館において効率的で学習効果の高い教育プログラムが実施できると考えます。

本稿では、図書館が取り組もうとしている教育プログラムについて紹介しました。図書館におけるリベラル・アーツ拠点としての新たな活動は、学生主導型の講義やイベントの企画、サロンの空間を利用したカルチャースクール形式の企画が構想されています。さらに、学修支援のためのギャラリー、知好楽（知的交流ゾーン）の構築、研究支援サービスの充実などが将来構想の中で提言されています。このような図書館の新たな取り組みが、図書館が従来から実施してきている各種の学修支援サービスと一体的に実施されることによって、図書館が大学教育の質的転換に大きく貢献することを期待しています。

参考資料

- ・ Wade, C. (1995) Using writing to develop and assess critical thinking. *Teaching of Psychology*, 22(1), 24-28.
- ・ 北川達夫 フィンランド流「伝える力」が身につく本 世界中の誰とでも話せる. 中経出版. 2010

(たはら・まこと 附属図書館副館長)

新しくなった鹿田分館

加藤 宣之

はじめに

鹿田分館は、中央図書館のリニューアルオープンに合わせる形で、平成26年5月9日（金）12時30分から20分程度のオープンセレモニーを行い、リニューアルオープンした。

鹿田分館は、昭和24年の岡山大学創設時に附属図書館の医学部分館として設置された。その後、昭和42年に新築され、昭和58年に鹿田分館として改称された。それ以来、大きな改築もなく、平成25年まで40年以上が経過した。さすがに老朽化も目立ったことから改築への予算要求がなされていた。そして、平成24年度補正予算でようやく予算措置が講じられ、大規模改修に至ったという次第であります。リニューアルオープンして既に数ヶ月経過しておりますが、大きく変貌した鹿田分館について、新しい設備を中心に以下に紹介したい。

図書館の新しい設備

(1) ラーニングコモンズ (1階)

複数の人がお互いにアイデアを出し合いながら学ぶことができる場となっております。テーブルも独特の形をしており、適宜、合体移動させることができますので、2人でも、10人でも一つのテーブルを囲んでのチームラーニングが出来ます。複数のグループが同時に使用できるスペースを確保してあります。グループ演習等には最適ですので、是非ご活用ください。



(2) セミナー室1 (2階)

一つのグループ（10人程度まで）だけで集中して使用したい場合に最適な部屋を用意しました。可動式の机と椅子10席の他、70型タブレットBIGPADもありますので、PCと接続することで大画面上での各種情報を共有して効率的学習が可能になります。この他にも、小さな各種集会あるいはセミナー、演習にも使用可能です。ご希望の際には、事前に1階のサービスカウンターにて予約してください。



(3) サイレント閲覧室 (3階)

今回のリニューアルを契機に、3階も図書館として使用できることとなったため、その大部分をサイレント閲覧室(122席)として静かに集中して学ぶことができるようにしてあります。共同学習と自習のゾーンを分け、つい立ても置き、集中できる環境を整えております。試験勉強にも最適の空間でありますので、是非ご活用ください。



(4) カフェ (1階)

以前から希望の多かったカフェ(ONSAYA)を併設しました。図書館にカフェがあることで図書館の利用も増加するのではないかと期待しております。勉強の息抜きにあるいはディスカッションの続きなどに是非ご活用ください。



その他の設備

リニューアルを契機に新しくなった設備以外にも、1階にはAVコーナー(図書館備え付けの視聴覚資料)、新着雑誌コーナー(専門雑誌)、リフレッシュスペース(新聞や一般雑誌)、2階には閲覧室(73席)、パソコンスペース、ラウンジ(一般図書)、3階にはセミナー室2(共同学習スペース)やラウンジ(一般図書)を備えておりますので、是非ご活用ください。

おわりに

鹿田分館(蔵書数約29万冊)は、24時間閲覧可能な図書館で常時だれかが利用している施設です。また、今年度より、一般市民にも本の貸し出しができるようになり、貸出期間も2週間となりました。3階からJホールを眼下にした際の眺望は大変素晴らしく、知的オリジナリティーが湧き出てくる感が致します。昨今の電子化の波で図書館から足が遠のいていた方々も、これを機会に是非足を運んでいただければ幸いです。また、その際には、是非ともマナーを守っての図書館ライフを楽しんでいただければと願う次第です。これからも知的活動に貢献する図書館を目指し努力して参る所存です。皆様におかれましては、なお一層のご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

(かとう・のぶゆき 鹿田分館長)

改修後の施設・サービス案内

学術情報サービス課

はじめに

中央図書館と鹿田分館は、昨年8月より耐震改修を行っていましたが、本年5月9日（金）にリニューアルオープンいたしました。

従来通りの1人静かに利用するスペースを確保しつつ、この度の改修の目玉である「ラーニングコモンズ」と呼ばれるグループ学修スペース—近年図書館の役割として重要視されている学生が主体的に学修をする場—を整備することで、利用者が多様な学修スタイルを選択できる空間づくりを行いました。

今回は、リニューアル後の図書館の施設・サービスについてご紹介いたします。新たな図書館をどうぞご活用ください。

中央図書館

津島キャンパスにある中央図書館は、西館と本館の2つの建物からなります。この度の改修区域となった本館では、1階～3階を階層別にゾーニングし、それぞれに求める学修空間を選択できるようになりました。

1階

人が集い学ぶ空間として位置づけ、目玉である「ラーニングコモンズ」を設置し、アクティブな学びに活用いただけます。開放的で明るい空間となりました。



ラーニングコモンズ／リフレッシュスペース

自由に動かせる机とホワイトボードを使ってディスカッションやプレゼンテーションを行えます。講義や講演でも利用できるスペース（40人）もあり多種多様なシーンで活用できます。学生アシスタントが様々な相談を受け付けております。

語学学習用ブース

友人とグループで学修、スピーキング練習、リスニング練習などが行えます。CNNやASIA SAT (=ASIA Satellite) にて多言語ニュースが視聴できるスペースもあり、ネイティブの発音に親しむことができます。



図書館入口



図書館のシンボルである時計棟の意匠を残しつつ周囲をガラスウォールにすることで、明るく開放的なホールとなりました。東側（マスカットユニオン側）にも玄関を設け、アクセス性を向上しています。

2階

ひとりでじっくり学修するために、広めのテーブルを配置した従来型の学修スペースを設けました。中央には教育用パソコンを40台設置しています。



個人学習エリア

電卓や持ち込みのパソコンの利用ができる閲覧スペースです。明るい窓側にはカウンター席も用意しています。目の前には岡山大学構内の緑が広がり、明るく爽やかな空間となっております。

パソコンスペース

広めのテーブルで教育用パソコンをご利用いただけます（学内者限定）。図書やノートを広げながら利用していただくのに十分なスペースを確保しており、好評をいただいております。カウンター席では、パソコン用に電源・有線LANを設けています。（改修に合わせて無線LAN環境も整備し、中央図書館全館でご利用いただけるようになりました。）



3階

東側にはより静かな学修空間を求める方に最適のサイレントエリアを設け、西側にはグループワークスペースを設けました。

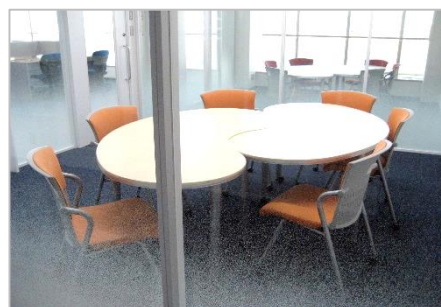


サイレントエリア

より静かに集中して学修できる閲覧スペースです。パソコン・電卓等の利用もご遠慮いただいております。明るい窓側にはカウンター席も用意しています。

グループワークスペース

自分たちのグループだけで集中したいときにご活用いただけるスペースです。最大100名が利用できるセミナー室や、グループで個室を利用して学修するのに最適なグループ学習室があります。リニューアルオープン直後から、授業や学会、打ち合わせなど、多岐にわたってご利用いただいております。ご利用の際は、カウンターでお申込みください。



- グループ学習室 2～10名でご利用いただけます。
- セミナー室 30～100名でご利用いただけます。

個室利用案内

グループ学習室、セミナー室及びラーニングcommonsのスペースについては予約を受け付けております。それぞれ目的に合わせて空間をお選びください。

※詳細は岡山大学附属図書館ホームページ「個室予約」をご参照ください。

<http://www.lib.okayama-u.ac.jp/centrallib/koshitsu.html>

新たな機器貸出サービスを開始いたしました。

- 貸出用ノートパソコン (20台) (学内者限定)
- 貸出用プロジェクター
- PF-NOTE (双方向学習コミュニケーションツール。教員による授業利用に)



ワンタッチで授業を録画、ワイヤレスの専用リモコンを使って学生の反応(アンケートや小テスト)をその場で収集・共有、学生の反応を分析評価できます。図書館での授業や演習にぜひご活用ください。

- 大画面タッチディスプレイ「BIG PAD」・コピー黒板

BIG PADはあらかじめ作成した画像データやPDFデータをUSBやパソコン接続で取り込み、ディスプレイに表示、専用タッチペンでホワイトボードと同じように書き込むことができます。コピー黒板は、通常ホワイトボードと同じようにインクペンで書き込むタイプです。いずれも書き込んだ後のデータを保存することができます。

学生アシスタントの配置について

学生アシスタントは、学生の皆さんの学修活動をサポートする学生スタッフです。活動を始めてまだ数ヶ月ですが、図書館サービス改善のための提案を積極的に行っており、館内の見回り、アンケートの実施、おすすめ図書の展示など、学生の皆さんのお役に立つ活動を数多く行っています。

現在学生アシスタントには留学経験者や外国出身者もいますので、外国語学習や留学についての相談などにも対応できます。また、一部の学生アシスタントは英語、中国語、フランス語でのコミュニケーションもできますので、日本語に自信のない留学生の方がお近くにおられたら、ぜひ一度利用をおすすめください。

授業期の月曜日～金曜日には、本館1階のラーニングcommonsで毎日数時間待機して皆さんをお待ちしています。図書館利用法、履修相談、学習相談、留学相談など、ぜひお気軽に声をかけください。



鹿田分館

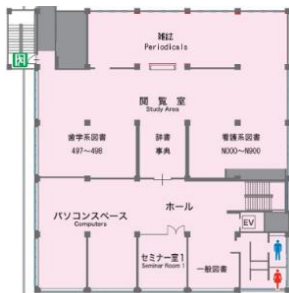
リニューアルした鹿田分館は「ひとりでも みんなでも 自由自在 Enjoy Your Library!」ど
う利用するかはあなた次第。困ったことがありましたら1階サービスカウンターへ。何でもお
気軽にお問い合わせください!!

1階

玄関を入った左手に新聞、一般雑誌のブラウジングコーナーがあり、学修の合間に利用できる「Café ONSAYA」への入口があります。ゲートを通った右手に国家試験問題集、新着図書、武内文庫など利用が多い図書を配架しました。右手奥にラーニングcommonsを配置し、アクティブラーニングの場として毎日多くの学生に利用されています。可動式の椅子、机、ホワイトボードがあり、無線LAN、有線LANの利用が可能です。新着雑誌は左手に、バックナンバーは集密書架に配架しています。



2階



2階ラウンジには一般図書を配架しています。セミナー室は自分たちのグループだけで集中したい時に利用（開館時間内要申込）ができる空間です。パソコンスペースには岡大IDで利用できる教育用パソコン、プリンタが設置され、図書館のデータベース講習会を実施することもあります。今年度中にパソコンが増設される予定です。2階閲覧室は東西の窓際にカウンター席があり、歯学系図書と看護系図書を配架しています。

3階

3階は医学系資料を配架したサイレントスペースの閲覧室になりました。一人静かに集中して自習できる空間です。東西の窓際にカウンター席があり、3階だけで閲覧席が122席あります。「席がない」という心配はなくなりました。静粛な環境を保つためこちらの閲覧室ではノートパソコンのご利用はご遠慮ください。ラウンジに語学学習資料等の一般図書を配架しています。



鹿田地区所属の学部学生・大学院学生はIC学生証で24時間図書館をご利用いただけます。ふたがでできる飲み物の持ち込みは全館OKです。ただしパソコンスペースではカバンに入れるようご協力ください。館内すべての閲覧席で無線LAN（要岡大ID）が利用できます。スマートフォン等を利用してスムーズに情報検索しながら学修できます。県立図書館のインターネット予約資料の受取りができるようになりました。専門資料は鹿田分館で、小説等の読み物は県立図書館で、という利用の選択が広がりました。マイライブラリの現物貸借で中央図書館の資料も取り寄せできます。図書の貸出期間は14日、延長回数は1回と変更になりました。

マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、岡山大学附属図書館が所蔵する江戸時代の備前岡山藩の行政資料を中心とした約10万点にもものぼる藩政資料です。平成17年3月には岡山市と岡山大学との間で「文化事業協力協定」が結ばれ、資料の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。今回の展覧会では、約3,000点の絵図の中から、ESDウィーク関連企画として「岡山藩と明治維新」をテーマに展示します。

1. 名称：企画展 池田家文庫絵図展「岡山藩と明治維新」
2. 会期：平成26年11月1日（土）～11月16日（日）（休館日を除く15日間）
[休館日] 11月10日（月）
[開館時間] 10:00～18:00（入館は17:30まで）

3. 会場：岡山シティミュージアム 4階 企画展示室
〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1

4. 入場料：無料

5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム

6. 関連行事：

[オープニングトーク]

日時 平成26年11月1日（土）10:00～10:30

会場 岡山シティミュージアム 4階 企画展示室

講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授 倉地克直氏

内容 企画展 池田家文庫絵図展「岡山藩と明治維新」について、この展覧会を監修された倉地克直先生に展覧会場でお話しいただきます。

備考 予約不要

[講演会]

日時 平成26年11月8日（土）14:00～16:00

会場 岡山シティミュージアム 4階 講義室

講師 東京大学 名誉教授 宮地正人氏

演題 幕末維新期の岡山

備考 定員80名（予約不要、当日先着順）

7. 主な展示資料：

長州戦争、戊辰戦争、農兵隊に関する絵図・文書

大政奉還に関する文書

神戸事件に関する文書

廃藩と岡山県の成立に関する文書



岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう パート2」報告

第1回「池田家文庫城下町絵図をめぐって」 第2回「岡山城二の丸の重臣屋敷街跡を歩く」
(講演会)

開催日：平成26年5月17日(土)

開催日：平成26年5月31日(土)

場 所：岡山県立図書館多目的ホール

場 所：京橋西詰北側～岡山城本丸入口

講 師：岡山大学大学院社会文化科学研究科
教授 倉地克直氏

講 師：岡山市教育委員会文化財課
課長 乗岡実氏

参加者：67名

参加者：20名

絵図のデジタルデータをもとに城下町岡山の成り立ちについて解説いただきました。多数の方にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。

かつての岡山城下の堀割、重臣屋敷、石垣や門などについて、現在の様子と池田家文庫絵図を参照しつつ、発掘調査の成果も交えて詳しく解説していただきました。

平成26年度「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(夏) 実施報告

平成26年7月19日(土)に教育学部と附属図書館の共催による「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(平成26年度夏)を開催しました。

16回目となる今回は、参加者12名(同伴者合わせて28名)が学生の演じる紙芝居で後楽園の歴史を勉強した後、複製絵図とカードを使って行き先を探し、道順を考えながら後楽園を探検しました。

植物研分館特別展示「研究所を支えたモノ」実施報告

資源植物科学研究所分館では、平成26年7月28日(月)～9月30日(火)の日程で特別展示「研究所を支えたモノ」を開催しました。植物研分館で保管されている研究所開設時からの実験機器類の大規模な展示として、顕微鏡・天秤といった一般的なものから穀物水分検定機・種子選別用箱といった農学系研究所ならではのものまで、興味深い当時の実験機器の数々をご覧いただく機会となりました。状態の良い数点は直に触れるようにもしており、見学に来た高校生が興味津々で動かしていました。この展示は今年創立100周年を迎えた研究所のイベントの一つであり、10月2日～3日に開催される100周年記念行事の会場にも展示します。



中央図書館ミニ展示

中央図書館では、定期的に「ミニ展示」で図書館内の本を紹介しています。館内で見かけた際は、ぜひ手にとってみてください。今年度前期は以下のテーマで実施いたしました。

5月「新生活応援 大学生基礎力を身につけよう」

6月「ブラジルワールドカップ関連 サッカー特集」

7月「宇宙っておもしろい！」

8月「学生アシスタントおすすめ本」・「図書館員おすすめ本」

オープンキャンパス報告

平成 26 年 8 月 8 日（金）、9 日（土）のオープンキャンパスに合わせ、中央図書館および鹿田分館で企画イベントを実施しました。また、中央図書館では、学生企画による「大学に行く意味ってなんだろう？」がセミナー室で、男女共同参画室の「理系の魅力」がラーニングコモンズで行われました。図書館の企画は以下のとおりです。

- ・新しくなった図書館内を探索しよう！
- ・ミニ展示（中央図書館）
- ・大学の教科書を見てみよう！
- ・リケジョ×ビブリオバトル（中央図書館）
- ・館内ツアー

2 日目は台風の接近のため 13 時で終了となりましたが、2 日間で中央図書館 2,002 名、鹿田分館 221 名の高校生、保護者の方にご来館いただきました。特に鹿田分館では、前回比 39% 増となりました。

オリエンテーション・データベース講習会実施報告

○中央図書館

中央図書館では平成 26 年 4～7 月にオリエンテーション等を実施し、延べ 1,519 名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション（図書館ツアーを含む）

実施日	対象	参加人数
4 月 3 日～7 月 2 日	新入生	1,319
4 月 1 日～4 月 2 日	新任教員	14
5 月 10 日	放送大学 学生	15

図書館・文献検索ガイダンス

実施日	対象	参加人数
4 月 21 日	農学部応用動物科学コース	25
5 月 2 日	自然科学研究科先進基礎科学特別コース	16
5 月 21 日	教育学部 野邊ゼミ	4

データベース講習会

実施日	講習会名	参加人数
6 月 4 日（2 回）、6 月 5 日	SciFinder Web 版	58
6 月 5 日、6 月 6 日	Web of Science + EndNote Basic	51
6 月 6 日	JapanKnowledge	3
6 月 11 日、6 月 13 日	Biological Abstracts + MEDLINE	10
6 月 11 日	Inspec	2
6 月 12 日	PsycINFO	2

●鹿田分館

鹿田分館では平成 26 年 4 月にオリエンテーションを、4 月～6 月にデータベース講習会を開催し、延べ 429 名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月1日	医学部保健学科新入生	172
4月2日	医学部医学科2年次編入生	5
4月8日	院医歯薬 博士学生	13
4月8日	医学部医学科新入生	115
4月9日	歯学部歯学科新入生	50

データベース講習会

実施日	講習会名	参加人数
4月28日	EBM Reviews	6
5月14日	CINAHL、Web of Science	5
5月15日	PubMed 入門, 医中誌 Web	5
5月26日、28日	文献検索の基礎	15
5月30日	PubMed 入門	6
6月2日	CINAHL	15
6月6日	Web of Science、EndNote Basic	6
6月9日	医中誌 Web 入門	8
6月12日	EBM Reviews	8

●資源植物科学研究所分館

資源植物科学研究所分館では、平成26年4月にオリエンテーションを、6月にデータベース講習会を開催しました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月9日	環境生命科学研究所新入生	8
4月28日	農学部新入生	126

データベース講習会

実施日	講習会名	参加人数
6月5日	SciFinder 講習会	1
6月6日	Web of Science 講習会	2
6月6日	JapanKnowledge 講習会	1
6月13日	Biological Abstracts 講習会	0

早朝開館実施報告（中央図書館）

中央図書館では、試験期にあたる平成26年7月7日（月）から8月5日（火）までの平日、開館時間を40分繰り上げ、8時から開館する早朝開館を実施しました。

この時間帯（8時～8時40分の40分間）の入館者数は、21日間で916人でした。

好評につき今年度の後期試験期間にも早朝開館を実施する予定です。

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

大原晃洋 [研究推進産学官連携機構 (受贈時)]

岡山県における国立大学等と地域企業の連携に関する調査報告 (Discussion paper : no. 100)

——文部科学省科学技術・学術政策研究所第3調査研究グループ, 2013.10 (LF377.2/O)

岡本源太 [社会文化科学研究科]

であ、しゅとうるむ ——Review House 編集室, 2013 (702.07/D)

加藤内藏准 [教育学研究科]

気候と音楽：日本やドイツの春と歌 ——協同出版, 2014.3 (451.91/K)

姜 克實 [社会文化科学研究科]

石橋湛山 (人物叢書:[278]) ——吉川弘文館, 2014.2 (289/J)

新村容子 [名誉教授]

アヘン戦争の起源：黄爵滋と彼のネットワーク ——汲古書院, 2014.1 (222.065/N)

古松崇志 [社会文化科学研究科]

中国経済史 ——名古屋大学出版会, 2013.11 (332.22/C)

遼文化・慶陵一帯調査報告書：京都大学大学院文学研究科 21 世紀 COE プログラム

「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」2005

——京都大学大学院文学研究科, 2005 (F222/R)

行安 茂 [名誉教授]

イギリス理想主義の展開と河合栄治郎：日本イギリス理想主義学会設立 10 周年記念論集

——世界思想社, 2014.1 (133.4/I)

吉岡文夫 [社会文化科学研究科]

Reading short stories : British, Irish and American storytellers (岡山大学文学部研究叢書 : no. 36)

——School of Letters, Okayama University, 2014 (930.2/Y)

和田 豊 [社会文化科学研究科]

価値の理論 第2版 ——桜井書店, 2014.5 (331.6/W)

(敬称略五十音順)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

岡山大学附属図書館貴重資料刊行推進会編

朝鮮通信使響応関係資料 下 (池田家文庫資料叢書 : 2) ——岡山大学出版会, 2014 (217.5/I)

会議

◆学外

- 26.4.17 第62回中国四国地区大学図書館協議会総会
(於：山口大学)
- 26.4.18 第41回国立大学図書館協会中国四国地区
協会総会 (於：山口大学)
- 26.5.26 平成26年度第1回岡山県大学図書館協議会
研修委員会 (於：川崎医療福祉大学)
- 26.5.30～31 日本医学図書館協会 第85回通常総会・
分科会 (於：日本科学未来館)
- 26.6.2 平成26年度岡山県図書館協会総会
(於：岡山県立図書館)
- 26.6.17 平成26年度第1回岡山県大学図書館協議会
総会 (於：川崎医療福祉大学)
- 26.6.19 第61回国立大学図書館協会総会 (於：国立
オリンピック記念青少年総合センター)

◆学内

- 26.3.7 平成25年度第4回附属図書館運営委員会
- 26.5.14 平成26年度第1回附属図書館運営委員会
- 26.7.3 平成26年度第2回附属図書館運営委員会
- 26.7.4 平成26年度第1回附属図書館運営委員会
資源植物科学研究所分館 分科会・図書委員会
- 26.8.4 岡山大学出版会運営委員会
- 26.8.22 平成26年度第1回附属図書館運営委員会
鹿田分館分科会

研修

- ・メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会
参加者 甲 彰一 (3.6、9.11)、
山田 周治 (9.11)
- ・北川達夫氏講演会・ワークショップ
参加者 沖 陽子、田原 誠、今津 勝紀、
富田 健市、山根 博、川村 眞、
甲 彰一、山田 智美、遠矢 厚志、
竹下 啓行、渡辺 典子、飯田 智美、
久磨 由美子、中 京子、大園 隼彦、
中山 栄美子 (3.6)
- ・部局長等合宿セッション
参加者 沖 陽子、富田 健市 (3.8～9)
- ・岡山大学事務系新任職員研修
参加者 市地 七実子 (4.22～23)
- ・岡山大学新任管理職員研修
参加者 山田 周治 (5.13)
- ・ハラスメント相談員研修会
参加者 山根 博 (6.6)
- ・平成26年度漢籍整理長期研修
参加者 藤井 香子 (6.9～13、9.8～12)
- ・目録システム講師ガイダンス
参加者 藤井 香子 (6.26～27)
- ・平成25年度岡山大学若手職員塾
参加者 大園 隼彦 (6.27～9.19)
- ・岡山大学プレゼンテーション研修及びメンタル
ヘルス研修
参加者 西村 朋子 (7.31)
- ・平成26年度岡山大学新任非常勤職員研修
参加者 島村 紀和子 (8.4)、
上村 朋香 (8.18)

編集委員会から

中央図書館と鹿田分館のリニューアルオープンからもうすぐ半年。早くもリニューアル前の図書館の様子が思い出せなくなったのは、新施設のインパクトのためか、それとも日々のバタバタのせい、はたまた老化に伴う記憶力の低下が原因か、などあれこれ考えていたらまた改修。本館2階はちょっと不思議な空間に生まれ変わります。これでまた思い出せない過去が増えそうです。(H.T.)

岡山大学附属図書館報「楳」 No.59 平成26年10月1日

発行人 山田周治 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1

ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>